

1 年国語科より

・学習につまずいている生徒へ

現代文の課題でつまずくとしたら問題集だと思います。「読む」段階でつまずくのと「解く」段階でつまずくのでは克服すべき課題が異なります。まずは自分が「読めない」のか「解けない」のか分析してみてください。「読む」段階でつまずいた人は、良質な文章を読んで、理解できないところを何とか理解しようと格闘する経験をたくさん重ねましょう。小手先の対処法で解決しようとしても、根本的な読解力はつきません。時間はかかりますが、地道に自分の知識を増やし知見を広げて力をつけていきましょう。「解く」段階でつまずいた人は、解説をよく読み、正答を導き出すためのプロセスを再現できるまで繰り返し何度も演習しましょう。いろんな問題を解きまくるより、同じ問題を何度も解いて解法を身につけてから次にいった方が、格段に「解く」能力が上がります。

古典でつまずいている場合は、慌てないで学校再開まで待っていて下さい。古典を精読する作業をいままでやったことがないと思いますので、つまずくのが当たり前です。いつ学校が始まったとしても、動詞・形容詞・形容動詞の解説から始めますので、まずは「予習」のつもりで穴埋め問題を解いて、できる範囲で「絵仏師良秀」のノートを作成しておいてください。ただ、音読だけは何度もしっかりやっておきましょう。はじめのうちは、どこで切って読めばいいかわからず、たどたどしい読みになるかもしれませんが、何度も繰り返し音読しているうちに、すらすらと読めるようになります。その頃には文章の意味もかなりわかってくるはずです。音読は古典読解の第一歩なのです。

・学習を進めたい生徒へ

購入した教科書や「新国語総合ガイド」、副読本を読み進めておくといよいでしょう。「読まねばならない」という義務感によって読むのではなく、趣味で読書をするような感覚で読んだ方がよいです。